



4・5月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 公益財団法人茨城県消防協会 編集発行人 消防協会長 葉梨 衛 印刷所 富士オフセット印刷(株) 1部 15円 (購読料は年会費に含まれています)

平成二十七年 第二回定時理事会、定時評議員会及び臨時理事会の開催

平成二十七年 第二回定時理事会、定時評議員会及び臨時理事会の開催

平成二十七年 公益財団法人茨城県消防協会第一回定時理事会が五月十一日(月)に、定時評議員会及び臨時理事会が五月二十六日(火)に各々茨城県総合福祉会館において開催されました。

定時理事会はまず、会議定足数の確認理事数三十二名のところ出席者二十四名で、半数を超え会議が成立)が行われ、その後、葉梨会長が所用により欠席となったため澤畑副会長から主催者の挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

・県消防安全課長

関 武志 様



退職消防団長へ 感謝状贈呈 (定時理事会)

公益財団法人茨城県消防協会役員名簿

(任期：平成27年度～28年度)

顧問 大塚 光 会長 葉梨 衛 専務理事 遠藤 延男

平成27年5月26日(建制順)

Table with columns: 支部名, 副会長, 理事数, 理事 (所属), 備考, 理事定数. Lists members across various branches like 北, 中央, 鹿行, etc.

Summary table for 消防団長歴10年以上の理事 (再掲) 6名 and 監事 (団長2・消防長1)

注1 理事数は、平成18年度の総会で決定された消防団長から20名、消防長から4名とし、その他団長歴10年以上の者を理事(10名理事)とした。
注2 副会長・理事については、当協会の「役員等の選任に関する基準について」に基づき各支部及び消防長会より推薦のあった者とした。
注3 監事は、各支部建制順に持ち回りとし、今期は鹿行支部、県南支部及び消防長会より推薦のあった者とした。



第99期初任科生



祝辞を述べる葉梨会長

・県立消防学校長

齋藤 亨 様

続いて議事は、澤畑副会長が議長となり、議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・可決されました。

【第一回定時理事会議案】

- 第一号議案 平成二十六年 事業報告
○第二号議案 平成二十六年 会計決算
○第三号議案 評議員会の招集

また、別に開催された定時評議員会及び臨時理事会については、次の議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・可決

されました。

【定時評議員会議案】

- 第一号議案 平成二十六年 事業報告の承認
○第二号議案 平成二十六年 会計決算の承認

○第三号議案 理事、監事及び評議員の選任

【臨時理事会議案】

○第一号議案 会長、副会長及び専務理事の選任
なお、第一回定時理事会及び臨時理事会の終了後に、平成二十六年中に退職となられた消防団長に対し、感謝状が表示された記念楯が贈呈されました。

表彰された前消防団長の皆様方には、長い間本当にご苦勞様でした。改めまして感謝の意を表します。

県立消防学校 初任科入校式

今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き二期制となり、まず前期の第十九期入校式が、四月八日(水)午前十時から県立消防学校において、県内二十四消防本部から総勢百二十四名の学生を迎え挙行されました。

式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(齋藤学校長)、知事告辞(関県消防安全課長)、続いて県消防協会長の来賓祝辞がありました。

今後、消防学校において、心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていくことを祈念します。

平成二十七年 春の叙勲・褒章

平成二十七年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日に総務省から発令されました。

本県からは、春の叙勲が十一名、第二十四回危険業務従事者叙勲が十六名、藍綬褒章が四名、合計三十一名の皆様を受章の栄に浴されました。

勲記・勲章は、五月七日(木)、県庁において橋本知事から伝達されました。

国(総務省消防庁)の伝達式は、春の叙勲が五月十四日(ニッショーホール)、危険業務従事者叙勲が五月十一日(日比谷公会堂)、春の褒章が五月十五日(スクワール麹町)においてそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居拝謁(豊明殿)も執り行われました。

受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。

以下、順不同にて受章者の略歴並びに国の伝達式の様子をご紹介します。

※()は発令日現在の年齢

春の叙勲

瑞宝双光章

○長島 正文(七十二)

元 小美玉市消防団 団長
消防歴 四十五年
小美玉市在住

瑞宝单光章

○青山 昇(八十三)

元 日立市消防団 分団長

消防歴 三十八年四月
日立市在住

○浅野 芳榮(七十三)

元 内原町消防団 副団長
消防歴 四十年半月
水戸市在住

○飯田 茂(七十五)

元 つくば市消防団 副団長
消防歴 四十四年
つくば市在住

○井上 時之助(八十七)

元 美野里町消防団 分団長
消防歴 三十六年八月半
小美玉市在住

○岩田 三郎(六十八)

元 守谷市消防団 副団長
消防歴 四十三年一月
守谷市在住

○大瀧 眞一(八十二)

元 水海道市消防団 分団長
消防歴 三十九年
常総市在住

○大森 正一(六十八)

元 常陸大宮市消防団 副団長
消防歴 四十三年一月
常陸大宮市在住

○塩澤 光三(七十四)

元 城里町消防団 団長
消防歴 五十年
城里町在住

○清水 武夫(七十二)

元 結城市消防団 副団長
消防歴 四十一年半月
結城市在住

防関係叙勲伝達式



春の叙勲伝達式(ニッショーホール)

○瑞野 勝(七十)

元 牛久市消防団 副団長
消防歴 三十五年
牛久市在住

第二十四回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

○石山 寛義(六十五)

元 鹿島地方 消防監
消防歴 三十六年三月
鉾田市在住

○潮来 辰雄(六十七)

元 鹿島南部 消防司令長
消防歴 四十年十一月
神栖市在住

○稲川 昇(六十九)

元 西南広域 消防監
消防歴 三十九年六月
下妻市在住
○宇留野 正(六十五)

元 常陸大宮市 消防監
消防歴 三十八年六月
常陸大宮市在住

○木村 均(七十一)

元 西南広域 消防監
消防歴 三十七年六月
下妻市在住

○澁谷 正信(六十五)

元 取手市 消防司令長
消防歴 四十一年十一月
つくばみらい市在住

○高橋 春夫(六十五)

元 日立市 消防監
消防歴 四十二年
日立市在住

○直井 壽治(六十五)

元 取手市 消防司令長
消防歴 三十九年
取手市在住

○中村 孝(六十六)

元 稲敷広域 消防監
消防歴 三十九年
龍ヶ崎市在住



危険業務従事者叙勲伝達式(日比谷公会堂)

○中村 有(七十四)
元 土浦市 消防司令長

消防歴 三十七年四月

土浦市在住

○眞家 正隆(六十九)
元 鹿行広域 消防監

消防歴 三十六年

鉾田市在住

○茂木 孝夫(六十八)
元 高萩・日立 消防司令長

消防歴 四十二年

高萩市在住

○小澤 通佑(七十一)
元 日立市 消防司令長

消防歴 四十一年

日立市在住

○齊藤 安司(六十七)
元 水戸市 消防司令長

消防歴 四十二年

ひたちなか市在住

○中川 喜代次(六十五)
元 土浦市 消防司令長

消防歴 四十二年

土浦市在住

○横山 義則(七十九)
元 水戸市 消防司令長

消防歴 三十五年二月

ひたちなか市在住

藍綬褒章

○草間 順司(六十六)
現 常総市消防団 団長

消防歴 四十年一月

常総市在住

○黒田 功(六十五)
現 稲敷市消防団 団長

消防歴 四十年一月

稲敷市在住

消防歴 三十三年一月

○富田 光一(六十三)
現 下妻市消防団 団長

消防歴 四十三年五月

下妻市在住

○藤井 裕一(六十五)
現 かすみがうら市消防団 団長

消防歴 四十七年一月

かすみがうら市在住



藍綬褒章伝達式(スクワール麹町)

日本消防協会主催・
消防団幹部候補中央特別研修に
坂東市、八千代町及び茨城町の
消防団員が参加

日本消防協会主催による第十四回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施されました。

○男性消防団員の部
平成二十七年二月四日(

六日(二泊三日)

(参加者)
八千代町消防団 部長 為我井 一城
坂東市消防団

○女性消防団員の部
平成二十七年二月十八日(

二十日(二泊三日)

(参加者)
茨城町消防団 部長 川澄 直子
団員 千葉 久美子

今回の研修に本県から参加された方々を代表して、男性消防団員の部の為我井一城さんと女性消防団員の部の川澄直子さんからの寄稿文をご紹介します。

「第十四回消防団幹部候補
中央特別研修」に参加して

八千代町消防団 為我井 一城

平成二十七年二月四日から二月六日までの三日間、日本消防会館にて、消防団幹部候補中央特別研修に参加させて頂き、大変貴重な体験ができました。

北は北海道羅臼消防団の方から、南は沖縄県久米島町消防団の方まで各都道府県から、約百三十名もの参加があり、茨城県代表として坂東市消防団のお二人と私の計三名で参加しました。

研修当初は、互いにけん制しあっているかの様で、ぎこちない感じがありました。消防という共通の話題があったためか、二十代から六十代までという様々な年齢層であったにもかかわらず、他の研修生と打ち解けるのに時間はかかりませんでした。

研修についてですが、秋本消防協会会長の講話に始まり、各講師の先生方の講話は、実例をもとに大変参考になりました。

た。その中でも、危機管理と各グループに分かれての課題討議が印象に残っています。

危機管理の講義では、状況判断、意思決定能力等の訓練に用いられる図上訓練を行い、実際に、災害状況を想定し、自分がどの様な判断・行動ができるか書き出してみました。

この図上訓練は、実際に活動する実動訓練とは違い、少人数且つ短時間で訓練ができるので日頃の訓練に取り入れたいと思いました。

次に、各グループに分かれての課題討議ですが、私の班では『消防団活動の問題点と解決策について』というテーマで討議を行いました。

都市部の消防団から地方の消防団と様々な地域からの班員の構成でしたので、各地域によっていろいろな問題がありました。

その中でも共通していた問題点が、活動を続けていく中で団員の確保と消防団のイメージアップをどうしていくかという事でした。限られた時間の中でしたが多様な意見が飛び交い白熱した討議ができました。

イメージアップができれば団員の確保に繋がるのではないかと考え、閉鎖的にならず活動内容をアピールし、地域の方々に知ってもらおう事が重要だと意見がまとまり、女性消防団や少年消防クラブ、地元企業などとも連携をとり、地元行事などに積極的に参加して行く事がアピールに繋がっていくと考え発表しました。

イメージアップは簡単な事ではなく、また直ぐに解決するものでもありません。ですが、少しずつ変わっていくれば、団員の成長にも繋がります。

活動がスムーズに

行えるのではないかと思います。今回の研修で学んだ事を一つでも今後の消防活動に活かしていけるように頑張っていきたいと思えます。



研修に参加した八千代町消防団の爲我井さん

「第十四回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して

茨城町消防団 川澄 直子

平成二十五年度より茨城町女性消防団の部長という大役を仰せつかり、結成後十四年の歳月が過ぎている女性消防団の運営を、これまでの活動を継続するだけで良いのかと思悩んでおりました。そのような中、平成二十七年二月十八日から二十日までの三日間、日本消防協会主催の「第十四回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させていただきました。

この研修会は、将来の消防団幹部育成を目的に毎年開催されております。研修会は平日にもかかわらず、全国各地から約百名もの女性消防団員が参加しており、参加者の並々ならぬ熱意を感じ取ることができました。

研修初日には、消防団員らしい規律のある開会式の後、日本消防協会長の秋本敏文氏から「これからの日本消防」と題

した講話を拝聴し、これからの地域防災力充実強化の重要性を学びました。

二日目には、東京都防災救急協会の講習指導担当部長の谷口由美子氏や総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室長の河合宏一氏、リスクコミュニケーションの長谷川祐子氏からそれぞれ、「これからの時代における女性消防団員の役割」、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化」、「災害国日本を生き抜く知恵を学ぶ」のお話を伺いました。その中でも、長谷川さんの「アメリカの子どもたちへの危機管理を学ぼう」は、女性消防団にはすぐに取り入れて出来る事が勉強になり、先生の熱弁は女性消防団員の心を動かしたようで、お話が終わると先生に駆け寄るような姿も見られ、先生を崇拜している団員が多いことを感じました。

最終日には、東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子氏、NHK解説委員室解説主幹の山崎登氏からも素晴らしいお話を伺うことができました。その後、各グループによる課題討議があり、私は「女性消防団の役割」について意見交換をしました。各グループによる発表では、それぞれ自分たちの抱えている課題に取組み、講話で学んだことを活かしての発表となりました。どのグループも素晴らしい、女性消防団員の活動は女性ならではの良さを生かし、地域に欠くことのできない女性消防団になることが大切ではないかと感じました。

この研修は、とても実のあるものであり、女性消防団員であることを誇りに思うと同時に、前向きに、自分たちでできることは何かを考えながら、これからの日々研鑽を積んでいきたいと思えます。最後に、このような素晴らしい研修を

受ける機会を与えていただきました日本消防協会の皆様をはじめ、各関係機関の方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



研修に参加した茨城町消防団の川澄さん

編集後記

いつものことですが、皆様からの寄稿文や様々な情報を心よりお待ちしております。

また、広告掲載を募集しております(掲載料・掲載一回税込み五千四百円、掲載サイズについては誌面四頁の掲載広告を参照して下さい)。是非、ご連絡ください。(き)

オリジナルTシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

ハッセル横門ストラップ取組店

茨城県ハッセル横門
ハッセル横門

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚 1-1-2
TEL:029[224]3450 FAX:029[224]3430

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目
小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

**茨城県代理店
有限会社 鈴 機**

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613

千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540

土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型ポンプ
充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社

水戸市東原3-6-24
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360